

令和4年度埼玉県オハイオ州スカラシップ

語学・大学留学コース 9月レポート

令和4年度奨学生 宮原佑季

時が過ぎるのは早いもので、このレポートを書いている時点で留学の約4分の1が終わろうとしています。フィンドレーは9月の下旬ごろから気温が徐々に下がってきており、冬服集めに奮闘しています。今回のレポートでは授業、クラブ活動、週末の過ごし方についてご紹介したいと思います。

【授業】

先月ご紹介した通り、秋学期は6つの授業を履修しています。以下が時間割です。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:00-9:50	英語 ライティング		英語 ライティング		英語 ライティング
10:00-10:50					
11:00-11:50	キリスト教と ユダヤ教の伝統	ジェンダー学 入門	キリスト教と ユダヤ教の伝統	ジェンダー学 入門	キリスト教と ユダヤ教の伝統
12:00-12:50					
13:00-13:00					
14:00-14:50	国際関係学		国際関係学		国際関係学
15:00-15:50				異文化交流	
16:00-16:50				(15:00~ 16:50)	
17:00-17:50				日本語教育	

日本の大学とは違い、週に複数回開講する授業が多いです。授業はそこまで多くないので、空き時間に課題や予習・復習をやるようにしています。学生と教授のコミュニケーションを密接にする場であるオフィスアワーを学内のフードコートで行ってくださる教授もいるので、日本の大学と比べて教授との距離が近く、勉強がしやすい環境だと思います。

【クラブ活動】

クラブは日本の大学のサークル活動と同様に、毎回必ず参加しなくてはならないというわけではないので、課題の進捗具合などを見て参加しています。現在参加しているクラブは、

アルティメットフリスビークラブ、K-POP クラブ、Habitat for Humanity (ボランティアクラブ)、日本文化クラブの4つです。特にアルティメットクラブは良い運動の機会なのでなるべく参加するようにしており、活動後に毎回行われる映画観賞会も楽しみにしています。もともと運動が得意ではないのでチームスポーツが苦手だったのですが、アメリカではゲーム中にミスしてもポジティブな声掛けをしてくれるため、気負わずに参加することができます。

また、クラブではありませんが、ビーチバレーボール大会に留学生チームとして参加しました。トーナメントではないので結果を気にせず和気あいあいと参加することができました。アメリカでは競技者のレベルを問わず、スポーツを楽しむ文化が根付いているのが印象的です。学内のジムではピラティスやキックボクシング、ズンバなどのレッスンも開講されており、運動に対する意識の違いを感じています。



クラブのミーティングでスモアを焼いています。



ビーチバレーボール大会の様子です。

【週末の過ごし方】

フィンドレーでは様々なイベントが行われており、週末は友人と共に遊びに行くことが多いです。9月は County Fair、Cedar Point (遊園地)、Haunted Corn Maze (お化け屋敷)、コロンバスなど様々な場所に連れていってもらいました。また、留学生向けのパーティーなども開催され、充実した週末を送ることができました。

◎Hancock County Fair



County Fair は動物の展示会も兼ねたお祭りです。牛、馬、豚、ヤギ、ウサギなどの動物が展示されており、競りも開催されています。動物以外にも出店や遊具があったので、County Fair 名物 Funnel cake や Lemon Shake-Up、コーンドックなどを食べて楽しみました。

◎Haunted Corn Maze



ハロウィンの時期限定のお化け屋敷です。室内だけでなく、庭やとうもろこし畑も使った大きなお化け屋敷で、仕掛けもかなり凝っていました。夜に遊びに行くことがあまりなかったのも楽しかったです。

◎TESOL、留学生ホームパーティー



TESOL と呼ばれる英語教授法を学ぶ学生と留学生向けのホームパーティーに招待していただきました。TESOL の教授の家にお邪魔して、様々な食べ物やゲームを楽しみました。アメリカの家やホームパーティーの雰囲気を感じることができ、異文化にいることを改めて感じました。

本プログラムの応募やフィンドレー大学での生活について興味や質問がございましたら、miyaharay@findlay.edu にお気軽にご連絡ください。私の経験が少しでもお役に立てれば幸いです。